

沼田市 新たな学校づくり 実施計画(案)

～夢に向かう子供たちを
応援する学校へ～



学校を“ふるさと”にしたい。

子供時代のかげがえのない体験は、
現在の笑顔、将来の幸せにつながる。

子供たちは、いろんな人との“ご縁”をつなぎながら
成長し続ける。

学校はみんなにとって思い出の“ふるさと”で
ありたい。

※この実施計画(案)について、パブリックコメントを実施します。

「新たな学校」では「沼田市でしかできない教育活動」を目指します。

子供たちの可能性を引き出す **特色ある学習活動**

自ら学ぶとともに、仲間とともに高め合う姿勢を育む。



地域とともにある学び

体験活動などから、豊かな心とたくましく生きる力を育てる。

「新たな形態」の学び

適正規模校も小規模校も、豊かな学びを実現する。

現在行っている教育活動に新たな工夫を加えながら充実させ、子供たちの未来を応援します。

小学校の統合等について

地域コミュニティの拠点として、地域とともに子供を育てる教育活動の展開

地区	現在の小学校区	学 校 の 配置場所	統合等 年 度	令和 12 年度(見込み)		備 考
				児童数	学級数	
旧沼田町	沼田小学校	(変更無し)	—	204	8	通学区の見直し (各学校の児童数は、通学区変更前のものです)
	沼田東小学校	沼田東小学校	令和 10 年度	340	12	
	沼田北小学校					
利 南	升形小学校	(変更無し)	—	130	6	令和 9 年度～ 沼田東中学校校舎を活用
	利南東小学校	沼田東中学校	—	163	7	
池 田	池田小学校	薄根小学校	令和 9 年度	172	7	令和 9 年度～ 小中一貫校(併設型)へ移行
薄 根	薄根小学校					
川 田	川田小学校	(変更無し)	—	65	6	
白 沢	白沢小学校	白沢小学校	令和 8 年度	115	6	令和 13 年度～ 義務教育学校を設置
利 根	多那小学校					
	利根小学校	(変更無し)	—	43	4	白沢中学校を本校とし、 利根小学校を分校とする。
合計	11 校	8 校		1,232	59	

- ・令和 8 年度の白沢小学校と多那小学校の統合では校舎を現在の白沢小学校に置き、義務教育学校移行後は現在の白沢中学校に置きます。
- ・令和 13 年度の義務教育学校設置後は、小学校や中学校という区分がなくなることから、小学校数は 7 校となる予定です。

中学校の統合等について

多くの人との関わりの中で、社会性と人間性を育む教育活動の展開

地区	現在の中学校区	学 校 の 配置場所	統合等 年 度	令和 18 年度(見込み)		備 考
				生徒数	学級数	
旧沼田町	沼田中学校	沼田中学校	・ 令和 9 年度 沼田東中学校 ・ 令和 12 年度 沼田西中学校 沼田南中学校	420	13	
	沼田西中学校					
利 南	沼田南中学校					
	沼田東中学校					
川 田	沼田西中学校					
池 田	池田中学校	薄根中学校	令和 9 年度	70	3	令和 9 年度～ 小中一貫校(併設型) へ移行
薄 根	薄根中学校					
白 沢	白沢中学校	白沢中学校	・ 令和 8 年度 多那中学校 ・ 令和 9 年度 利根中学校	75	3	令和 13 年度～ 義務教育学校を設置
利 根	利根中学校					
	多那中学校					
合計	9 校	3 校		565	19	

- ・令和 13 年度の義務教育学校設置後は、小学校や中学校という区分がなくなることから、中学校数は 2 校となる予定です。

※児童生徒数は、令和 6 年 4 月 1 日までの出生数から推計しています。

※学級数は、現在の学級編制基準に基づき全児童生徒数から算出しています。

複式学級を考慮した学級数ですが、基準が異なる特別支援学級は考慮していません。

小学校統合等の具体的なスケジュール目標

適正規模に関わらず、原則、各地区に1校を配置します。

市内11校ある小学校を、令和10年度（目標）までに8校に統合します。

■個別統合計画

※令和13年度の義務教育学校設置後は、学校数が増え、学校数が増えます。

- ① 沼田東小学校と沼田北小学校は統合します。
- ② 池田小学校と薄根小学校は統合します。
- ③ 白沢小学校と多那小学校は統合します。

■その他

- ① 沼田東小学校と沼田北小学校の統合に併せて、沼田小学校を含めた通学区域を見直します。
- ② 利南東小学校は現在の沼田東中学校の学校施設を活用します。



中学校統合等の具体的なスケジュール目標

適正配置に考慮した上で、原則、学校統廃合を実施します。

市内9校ある中学校を、令和12年度（目標）までに3校に統合します。

■個別統合計画

※令和13年度の義務教育学校設置後は、学校数が増え、学校数が増えます。

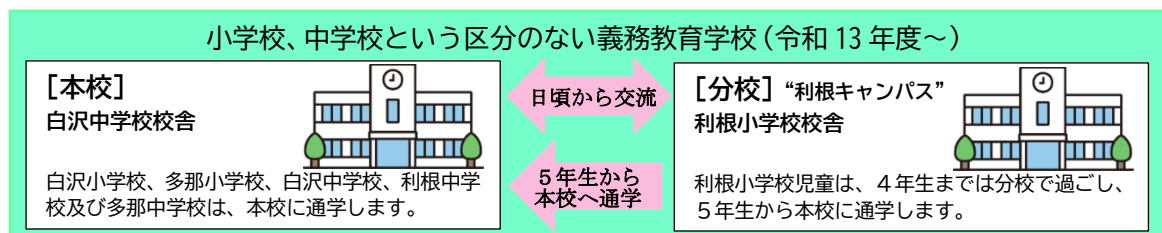
- ① 沼田中学校、沼田西中学校、沼田南中学校、沼田東中学校は統合します。
- ② 池田中学校と薄根中学校は統合します。
- ③ 白沢中学校、利根中学校、多那中学校は統合します。



小学校・中学校の共通事項（新たな形態の学び）

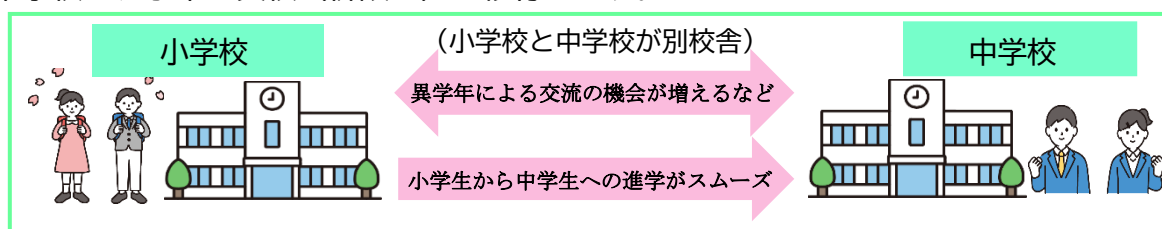
通学区域が広大な本市では、適正配置に配慮する必要がある、小規模校の在り方を検討する必要があります。

- ① 義務教育学校（白沢小学校・白沢中学校・利根小学校・利根中学校・多那小学校・多那中学校）
義務教育学校の本校を白沢中学校に、分校を利根小学校に置きます。
なお、利根小学校の児童は、5年生から本校へ進級します。



- ② 小中一貫校（池田小学校と薄根小学校、池田中学校と薄根中学校）

池田小学校は薄根小学校と統合し、池田中学校は薄根中学校と統合し、統合後の小学校と中学校は、小中一貫校（併設型）へ移行します。



義務教育学校・小中一貫校について

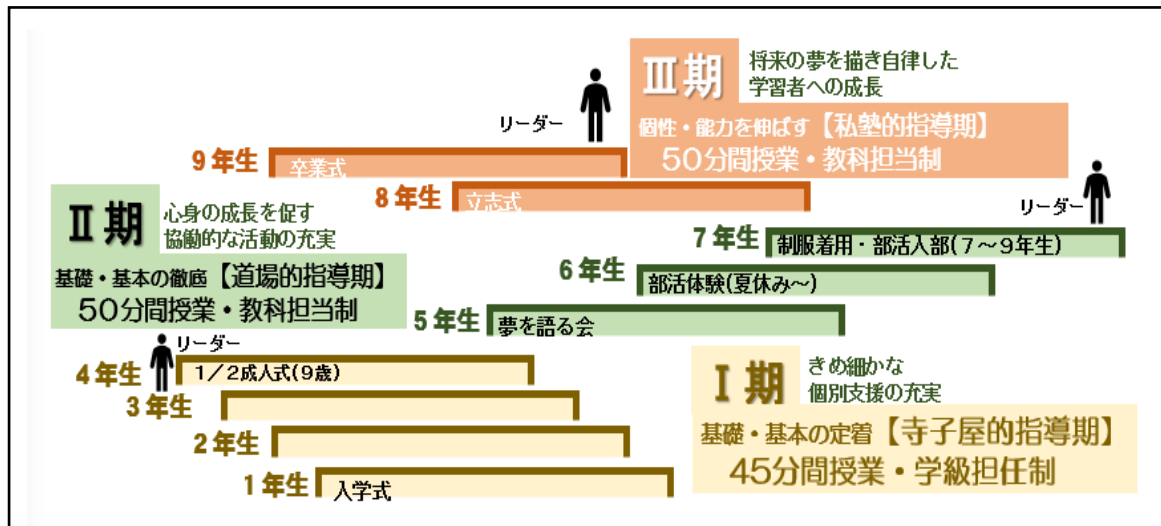
小学校及び中学校で目指す児童生徒像を共有しながら、9年間の系統的な学びが可能となります。小中学校による合同行事の開催など、積極的な異学年交流を図ります。

学習面においては、小学校における一部教科担任制（中学校教員による指導）など、専門性をいかした指導体制を工夫します。

義務教育学校と小中一貫校の違い

義務教育学校	小中一貫校（併設型）
 ○新たな学校種（ひとつの学校） → 1人の校長、ひとつの教職員組織 ○修学年限9年	小学校  中学校  ○組織上独立した小学校・中学校が、一貫した教育を施す形態 → それぞれの学校に校長、教職員組織

義務教育学校での学び



夢に向かう子供たちを応援するために

統廃合で、今は違う学校の児童生徒が、同じ校舎で、一緒に学ぶこととなります。それぞれの学校で“新しい出会い”が生まれ、日々の生活や学習の場では、自分もみんなも、幸せになるための“学び”も生まれます。ワクワクする子供がいれば、不安を感じる子供もいるかもしれませんが、地域と、家庭と、学校が、みんなで一緒に丁寧に寄り添っていきたいと考えています。

子供たちが新しい出会いを前向きに捉えていけるよう、共に力を合わせ、新たな学びの場をつくっていく……

